

2026年5月18日

各位
会社名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号: 4582)
問合せ先 IR室 (TEL.03-5472-1125)

超高感度（ピコレベル）イムノクロマトシステム 商業化に向け、安定供給体制を確立

シンバイオ製薬株式会社（以下、シンバイオ製薬）は、現在開発中の超高感度イムノクロマトシステム（以下、本システム）の基盤となるナノコンポジット粒子の供給に関して日鉄ケミカル&マテリアル株式会社（以下、日鉄 C&M）と、超高感度検査キットの製造について株式会社ニッポンジーン（以下、ニッポンジーン）との間で供給に関する基本契約を締結しましたのでお知らせいたします。

今後、シンバイオ製薬は両社と協力し、測定対象となる微量の抗原検出のための検査システムの商業化に取り組んでまいります。このたび、両社との間で供給契約が成立したことで、本システムを安定供給するサプライチェーンの確立により、事業化に向けて展開してまいります。

本システムは、1ピコグラム/mL（= 1 mL 当たり 1 兆分の 1）未満の極微量のウイルス等の抗原を、現場で即時に定量検出できる画期的 POCT 技術です。当該技術については 2025 年 10 月に、日鉄 C&M と共同で国内特許を取得しており、現在 PCT により海外における特許出願をしております。対象疾患としてはウイルス感染症領域のみならず、がん領域、アルツハイマー型認知症を含む脳神経領域においても、早期検出による早期診断・早期治療が可能となります。

代表取締役社長兼 CEO 吉田文紀のコメントです。「両社との提携により安定供給体制を確立できたことを大変うれしく思います。超高感度 POCT システムはゲームチェンジャーとなり、グローバルの多様な社会ニーズに貢献できると確信しております。」

なお、本件が 2026 年 12 月期の連結業績に与える影響はありません。

以 上

注記

- **POCT (Point of Care Testing)**

患者さんのそばで即時に実施できる検査として、診断や治療方針の早期判断を可能にします。

- **シンバイオ製薬の IVD (体外診断用医薬品) 事業**

ご参考：2025年10月20日リリース：高感度（1兆分の1の検出感度）の画期的イムノアッセイ法の特許を取得

シンバイオ製薬は、満たされない医療ニーズに応えることを使命としており、IVD 事業を「空白の診断領域」と位置づけ、患者さんの精密医療に貢献していきます。

本システムにより、既存の検査市場を根本から置き換える技術基盤となることを目指しています。医療分野では、病院の外来や病棟のベッドサイドはもちろん、救急の現場でも検査・診断を行うことができ、現状では困難なウイルス感染初期の診断が可能となります。ウイルス感染症のみならず、がん領域、アルツハイマー型認知症を含む脳神経領域も対象疾患となります。また、非医療分野では、種苗・野菜等の農作物分野ならびに外来生物による被害が深刻化している分野に対しても貢献が期待されます。

現在事業化を進めている IVD 事業の展開には、診断技術・製造・品質管理等の専門領域における知見とインフラが不可欠です。そのため、各分野における最適なパートナーとの提携を通じた事業推進を基本戦略としています。

- **本システムがもたらす価値**

本システムは、以下の価値を提供します。

- ・ 早期診断の実現：ウイルス感染症、がん領域、アルツハイマー型認知症を含む脳神経領域の疾患における抗原検出
- ・ 現場即応性：臨床現場や非医療現場での迅速で正確な検査
- ・ 市場創造：超高感度（ピコレベル）抗原定量検査という新市場の開拓
- ・ 非医療分野：現場での農作物・環境保全分野における抗原検出